

町田市街路樹更新計画素案 市民意見募集の結果

期 間 2022年12月20日（火）から2023年1月19日（木）まで

周知方法 町田市ホームページ、広報まちだ（2022年12月15日号）

意見書の数 2通

意見の数 9件

意見の概要と市の見解

	意見の概要	市の見解
1	街路樹の更新計画を策定することは、緑豊かな街づくりを進める上で、大変意義があることだと考えます。	本計画の主旨にご理解いただきありがとうございます。
2	樹形の乱れは、単に大径木だからというだけでなく、樹木が弱ったり、過剰な剪定も原因としてあるのではないかと考えます。	街路樹の衰弱や剪定方法によっては樹形が乱れてしまうと認識しております。そのため、景観重視路線では、きめ細やかな剪定を、植栽環境改善路線では、適正な時期・期間に剪定を行うこととし、街路樹の特徴に合わせた剪定を行います。また、街路樹の衰弱についても配慮しながら剪定を行います。
3	弱っている樹木を、植替え以外の方法で再生する方策も必要と考えます。 周辺の生育環境の課題もあるかもしれないが、道路脇の狭隘な土地という要因もあるかと考えます。	街路樹が弱っている原因を調査し、個別に再生方法を検討します。 また、街路樹の良好な生育環境にも配慮し、樹木撤去路線のように歩道幅員が狭い箇所の植栽は撤去します。
4	樹木にとっては地上の環境だけでなく、土中環境も重要なので、土中環境を改善する取組が必要です。 土中環境の改善による街路樹の生育環境改善の方策を盛り込むべきと考えます。	街路樹の健全な生育の為、土中環境の改善も検討しながら管理を行います。
5	過剰な剪定については、枝を少なくしつつ、見た目の良さを保つ剪定を取り入れることが必要と考えます。	過剰な剪定にならないように、更新後の管理は、剪定の頻度を高くすることで、強剪定をすることなく、美しい樹形の維持を目指します。
6	生物多様性保全の観点からの街路樹の計画も必要と考えます。 チョウの食草になる木、野鳥が食	生物多様性の観点は重要な視点だと考えています。 街路樹や公園・緑地、その他民間施設

	<p>べる実をつける木の導入策も盛り込む必要があります。</p> <p>また、街路樹が野鳥の営巣場所になるよう、茂みをあえて残す、春から夏の剪定を避ける、といった配慮が必要と考えます。</p> <p>可能であれば街路樹への巣箱設置の検討も必要です。</p>	<p>等のみどりとの機能分担を考慮しながら、また、沿道の環境や沿道の方の考えなども踏まえて樹種を選定します。</p> <p>街路樹の剪定時期については、街路樹の特性を踏まえつつ、その他の要因も考慮しながら決定します。</p> <p>巣箱設置については、歩行者の安全性や維持管理上好ましくない為、設置しません。</p>
7	<p>限られた予算の中で、持続的に街路樹を管理するという視点は、将来の世代・市民のことも考えた、とても素晴らしい計画だと思います。</p>	<p>本計画の主旨にご理解いただきありがとうございます。</p>
8	<p>14ページや23ページ等に対象約100路線とありますが、約100路線はどのように選定・分類されたのでしょうか。</p>	<p>緊急度や危険性、歩行者の通行機能の確保、景観への配慮の必要性、良好な植栽環境への改善等を考慮して4分類に区分し、これまでに地域の皆様から頂いたご意見や、周辺環境、通行情況を踏まえて選定しました。</p>
9	<p>管理しきれない低木は、事故等にも繋がりにくいので、撤去を検討しても良いと思います。</p>	<p>樹木撤去路線の低木は撤去します。その他の路線における低木は、引き続き管理していきますが、今後、交通の安全性や利便性の観点から低木の植栽が不適切となった箇所については、撤去の検討を行います。</p>